

平成 30 年度前学期 社会人公開授業

科目名	法思想史 A
開設大学名	朝日大学
講師	朝日大学法学部 教授 岡寄 修（おかざき おさむ）
初回予定日	4月9日（月）
授業時間	毎週月曜日 2時限目(10:45-12:15)
主会場	朝日大学穂積キャンパス 6号館8階 6813講義室
聴講方法	対面
科目内容	民法に見られる各種規定も、近代化へのプロセスの中から 19 世紀に生じたものである点に注目すれば、法思想史は決して過ぎ去った昔話をするための講座ではありません。現代の法の規定が、社会の変化に伴ってどのようにして誕生したのかを理解するうえで、法思想史の知識は欠かせないものです。この講座では、歴史上の変化を政治と経済面から振り返り、近代化と個人主義化との間には密接な関係があることを示します。
注意事項	<p>高校生は受講できません。</p> <p>7月16日（月）海の日は授業実施日です。</p> <p>教科書は指定せず、資料の引用を含む自前のプリントを配付して講義を進めます。</p> <p>[参考書]</p> <p>ジョン・デューイ/清水訳『哲学の改造』（岩波文庫）/ ジェイコブ・ブロンフスキー『科学とは何か』（みすず）/ ロバート・ハイルブローナー/八木他訳『入門経済思想史』（筑摩学芸文庫）/ 他は講義と資料を通じて指示します。</p>

授業の開催日程

回	日付	講義テーマ
第 1 回	2018/4/9	法思想史はどのような学問か：オリエンテーション
第 2 回	2018/4/16	ありのままにものを見ているか？（認識論の基礎 1）
第 3 回	2018/4/23	個人主義は利己主義とは違う（認識論の基礎 2）
第 4 回	2018/5/7	封建社会での労働は「ご奉仕」（身分社会とは 1）
第 5 回	2018/5/14	慣習法の支配：一存での決定を阻むもの（身分社会とは 2）
第 6 回	2018/5/21	奉仕から財産へ：労働の意味の変化（近代化とは 1）
第 7 回	2018/5/28	「主人」と「奉公人」：身分社会での責任のありか（近代化とは 2）
第 8 回	2018/6/4	まとめと小テスト
第 9 回	2018/6/11	近代以前の取引風景（ビジネスの近代 1）
第 10 回	2018/6/18	私益の追求を認めた近代社会（ビジネスの近代 2）
第 11 回	2018/6/25	社会契約論と市民社会（「身分」から「契約」へ 1）
第 12 回	2018/7/2	契約社会とはどのような社会か（「身分」から「契約」へ 2）
第 13 回	2018/7/9	「レッセ・フェール」と立身出世：身分の支配が消えた証（自由と自律 1）
第 14 回	2018/7/16	競争する自由（自由と自律 2）
第 15 回	2018/7/23	共同体主義と父権主義（日本の社会分析）